

③新たな作目や品種の特徴を活かした需要拡大

菊芋を使用した中華スイーツの開発、製造及び販売

藤沢市産菊芋を用いた菊芋中華スイーツの開発・販売を行う。

連携体

農林漁業者

中越 節生(農業)

自然農法(無肥料・無農薬栽培)と有機農業などで約80種類の野菜を育てた経験を元に菊芋の周年出荷を行う。

中小企業者

(株)隆澤(法人番号:3020001088633)(飲食業)

中華料理店のレシピ開発ノウハウを活かした菊芋中華スイーツの開発とデパートなどの催事ネットワークを活用し販売。

連携参加者

サポート機関等

神奈川県中小企業団体中央会、湘南信用金庫、中小企業基盤整備機構関東本部

連携の経緯

菊芋の持つ効能に着目し、神奈川県産の菊芋を使った中華スイーツを開発するために農業者を探していたところ、湘南信用金庫から神奈川県中小企業団体中央会を紹介され、中越節生と知り合うこととなった。農業者として以前から菊芋に注目していた中越節生はすぐに(株)隆澤と意気投合し、今回の連携に至った。

連携に当たっての課題や工夫等

隆澤では、農業者の菊芋に関する「うまみ、食感など味の見極め」「最適な状況での出荷」「安定供給」の知識を得ながら、菊芋を中華菓子にするための新たな配合レシピの開発や新たな製造方法の開発を行い菊芋中華スイーツを開発販売する。中越節生は、菊芋の有機農法と自然農法に新たに取り組むとともに、菊芋のマルチ栽培法の確立や保管方法の確立により菊芋の周年出荷に挑戦する。また難しいとされる菊芋の輪作にも挑戦し事業者への安定供給体制を構築する。



中華スイーツのファン等

連携体

【代表者】

中華スイーツの開発・販売
(株)隆澤
(神奈川県横浜市)
中華スイーツのレシピ開発

【共同申請者】

菊芋の周年出荷の実現
中越節生
(神奈川県藤沢市)
自然・有機農法のノウハウ

連携による効果

農林漁業者

5年で2,400千円の売上高増加、菊芋生産による藤沢野菜の地位向上

菊芋の生産を通じて藤沢野菜のブランド化を図り地位向上をさせ、近隣の農業経営の安定にも貢献すると期待される。

中小企業者

5年で30,000千円の売上高増加、収益性の改善

オリジナル菊芋中華スイーツの開発と販売を行うことで売上の増加と収益性の改善が期待される。

代表企業等の連絡先

企業等名：株式会社隆澤

TEL：045-264-4358

E-mail：ryutaku168@yahoo.co.jp

所在地：横浜市中区山下町106-7マルナミビル1F

FAX：045-264-4368

ホームページ：http://www.ryutaku168.com/